

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所『まんなか』		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 17日		～ R7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 20日		～ R7年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・連絡帳に細かく療育内容や様子を伝えることで保護者と情報共有している。	・利用児の様子や療育内容を細かく簡潔にまとめて報告している。	・今後も継続していく。
2	・法人内に園と事業所がある為、先生と連携がとりやすい。	・毎月、園の先生と気付いた点を細かく情報共有し合っている。	・今後も継続していく。 ・仕事前や年度の変りなど子どもに変化があるときには必ず連携をとるようにしていく。
3	・施設にエレベーターがあり段差も少なくバリアフリー化している。	・障害物となるような物を置かないようにしている。 ・子どもの状態に応じてバリアフリーに頼りすぎないようにしている。	・今後も継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・HPやSNSで活動や様子をお知らせすることができず把握しづらい。	・プライバシー等の懸念があり公開は保留している。	・今後の保護者の承諾や要望のもと検討していく。
2	・PTやOTなどの専門職がおらず専門的な支援に欠ける。	・プライバシー等の懸念があり公開は保留している。	・今後の人数や必要に応じて専門職の配置を検討していく。 ・スキルアップの為の研修を行う等して専門的な知識を身につけていく。
3	・事業所が認定こども園内にあり、出入口が分かりにくく、外部の方が入って来づらい。	・事業所が認定こども園内にある為。	・出入口の付近に目印となるような看板の設置を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所「まんなか」
------	-----------------

公表日 7年 3 月 14 日

利用児童数 7年 3 月 14 日

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。				1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。				1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。				1		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信さ れていますか。				1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユア ル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所「まんなか」		公表日		7年 3 月 14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		指定基準上のスペースは確保しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		職員の配置は、指定人員基準以上の配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		必要な箇所には視覚支援を行い、利用児が困ることなく生活できる環境を整えています。施設にはエレベーターを完備しており、室内は段差がなくトイレは十分な広さを確保しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日消毒や掃除を行い、時間を決めて換気を行うことで気持ちの良い空間を提供できるように努めています。	時期やアレルギーを考慮して換気が行えない場合には、空気清浄機の設置を予定しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		部屋自体には区切りを設けていませんが、パーテーションを用意し必要時に使えるようにしています。	今後、落ち着ける空間として、個室となるようなコーナーを設けていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		定期的なミーティングを行い、職員全体で把握できるように取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		初回の為、今回いただいたご意見を基に改善の必要な部分においては職員で共有し、ニーズに答えていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的なミーティングにて職員の意見を交換し、業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		現時点では第三者評価による外部評価は行っておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		個人で必要な研修等に参加し、資質の向上を図っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4			現段階、準備中です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		ご家族様と時間をかけて話し合い、アセスメントの確認、分析を行い最善の計画案を作成できるように努めています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		個別支援会議で計画内容の把握または意見交換を行い、個々の計画に沿った支援を行えるよう全員で話し合っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援会議で計画内容の把握または意見交換を行い、個々の計画に沿った支援を行えるよう全員で話し合っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿って必要な支援項目を選択し、具体的な支援内容を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		個別支援会議、定期的なミーティング等で活動プログラムを話し合い、立案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		固定化しないよう、職員間で協議し個々の特性や年齢に応じたプログラムを設定しています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		基本的には個別療育であるが、集団活動へ移行できるよう、集団を意識した計画を作成し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日必ずミーティングを行い、利用児の情報共有や役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日必ずミーティングを行い、利用児の情報共有や役割分担の確認を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		利用児の様子・活動を記録しています。記録を見返すことにより、より良い支援に繋がるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に1回以上のモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		利用児に応じて適切に組み合わせ支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		利用児とのやり取りの中で気持ちを受け止めつつ、選択できるような声掛けを行い自身で決定する力が育つように支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		事前に事業所内でミーティングを行った上で、主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		小児科医、地域の医療機関と連携しています。怪我などをした場合には、直ちに診察を受けられるよう体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者様から変更連絡や下校時間を教えていただいたり、学校の先生にも確認をとり、情報共有を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		法人内に認定こども園があり、外部に関しては送迎時や担当者会を設けることで情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		該当する児童がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		現在は設けていないが、今後研修等にも参加していきよう検討しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		法人内に認定こども園があるので日ごろから関わりを持っている。また、行事やイベントには参加し、連携を図るようにしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		現在は参加することが出来ておりませんが、今後は参加できるように努めていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡ノートや送迎時、家庭訪問などで情報を共有している。また、必要に応じて面談を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		今後実施できるように検討しています。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に保護者様に詳細な説明を行っています。その都度質問を承っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		ご家族様と時間をかけて話し合い、アセスメントの確認、分析を行い最善の計画案を作成した物を確認していただき同意を得ています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		保護者に同意を得た上で支援計画にサインを頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		連絡ノートや送迎時等で相談を受けた場合には、状況に応じて事業所内に持ち帰り、改めて面談日を設けることで適切な助言ができるようにしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	事業所内での保護者会等は開催しておりません。	プライバシー等の観念もあるので、開催するかは今後保護者にも確認しながら検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情受付窓口を設けており、責任者が日々の利用に関するご相談については迅速に対応できるように配慮しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		HPIにて施設の概要を発信しています。	今後、通信等を導入、活用しながら活動内容や行事予定などを発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報は鍵付き書庫に保管しております。今後も取り扱いには十分留意していきます。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		適宜分かりやすい言葉を用いるように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		個人情報の観念もあるので、保護者とも相談しながら慎重に進めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルに関しては事業所内に掲示しており、職員や保護者に周知しています。訓練は年間行事に記載し定期的の実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し、法人内での研修に定期的に参加しています。月に一度様々な想定をし、避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		契約時や面談時に持病や服薬を確認しています。対応については保護者と相談し確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時や面談時にアレルギーの有無を把握し、必要に応じて対応していきます。（現在は該当者なし）	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		避難訓練は月1回ほど実施しており避難場所等を配布物にてお伝えし周知しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		事業所玄関に避難場所や災害時の対応について掲示しております。変更などあればその都度配布物でお知らせし周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事例があった場合にはヒヤリハットを作成し、事故の防止、予防に努めていきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年間研修計画として内部研修を行い、職員間で周知しています。県や市主催の虐待予防研修に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3	現在該当者なし。	今後面談時や契約時に必要と判断した場合は、子どもや保護者に説明し了承を得た上で計画書に記載し、サインをいただきます。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所「まんなか」					公表日	7年 3月 14日		
						利用児童数	7年 3月 14日	回収数	9
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			1	・小人数の対応スペースがしっかりとれていると思う。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9							
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9							
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	9							
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				・子供に合った遊び方で療育をしてくれていると思う。 ・子供が苦手とすることをお伝えすると都度応じた療育をしてくれる。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9							
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9				・子供の成長に合わせてくれている。 ・いつも保護者のニーズに答えていただき臨機応変に対応してくれている。			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9							
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9							
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				・子供の特性に応じた内容(弱いところ・興味がある分野をくんぐん育てる内容等)毎回提供して下さり頑張る力を維持できる工夫がされていると感じる。			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8				1	・保育園と連携をして活動できている。		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9							
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					・いつも説明をしっかりとしてくれている。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2						
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					・連絡ノートに詳しく書いて下さり内容だけで目の前で活動を見ているかの様に分かりやすく細かく活動内容が理解できる。 ・連絡帳等でこまめに伝えていただき大変助かっている。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	2	2				
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9							

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2			・定期的にお知らせをしてくれている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		1	・定期的に行ってくれているので安心できる。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				・毎回楽しみにしている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しんでいるのが伝わっている。</li> <li>・「イエーイ！」といい大変喜んでる。</li> <li>・子ども自身、事業所の先生が好きで楽しく過ごせているととても感じる。</li> <li>・とてもとても、それはそれは楽しみにしている。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所に通うことで言葉が増えたり成長を感じるが多々あり満足している。</li> <li>・大変満足している。</li> <li>・大変満足しているので現状維持を望む。</li> </ul>	



公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所「まんなか」		公表日	7年 3 月 14 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		指定基準上のスペースは確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		職員の配置は、指定人員基準以上の配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		必要な箇所には視覚支援を行い、利用児が困ることなく生活できる環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日消毒や掃除を行い、時間を決めて換気を行うことで気持ちの良い空間を提供できるように努めています。	時期やアレルギーを考慮して換気が行えない場合には、空気清浄機の設置を予定しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		部屋自体には区切りを設けていませんが、パーティションを用意し必要時に使えるようにしています。	今後、落ち着ける空間として、個室となるようなコーナーを設けていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		定期的なミーティングを行い、職員全体で把握できるように取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		初回の為、今回いただいたご意見を基に改善の必要な部分においては職員で共有し、ニーズに答えています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的なミーティングにて職員の意見を交換し、業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		現時点では第三者評価による外部評価は行っておりません。	第三者評価による外部評価は今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		個人に必要な研修等に参加し、資質の向上を図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	4		現段階、準備中です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		ご家族様と時間をかけて話し合い、アセスメントの確認、分析を行い最善の計画案を作成できるように努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		個別支援会議で計画内容の把握または意見交換を行い、個々の計画に沿った支援を行えるよう全員で話し合っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援会議で計画内容の把握または意見交換を行い、個々の計画に沿った支援を行えるよう全員で話し合っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿って必要な支援項目を選択し、具体的な支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		個別支援会議、定期的なミーティング等で活動プログラムを話し合い、立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		固定化しないよう、職員間で協議し個々の特性や年齢に応じたプログラムを設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		基本的には個別療育であるが、集団活動へ移行できるよう、集団を意識した計画を作成し支援しています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日必ずミーティングを行い、利用児の情報共有や役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日必ずミーティングを行い、利用児の情報共有や役割分担の確認を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		利用児の様子・活動を記録しています。記録を見返すことにより、より良い支援に繋がるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に1回以上のモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		事前に事業所内でミーティングを行い、主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	小児科医、地域の医療機関と連携しています。怪我などをした場合には、直ちに診察を受けられるよう体制を整えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		必要に応じて情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			就学前の担当者会議を通して、情報提供・共有を行い、支援の方針が統一されるように努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		現在は設けていないが、今後研修等にも参加していくよう検討しています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4		法人内に認定こども園があるので日ごろから関わりを持っている。また、行事やイベントには参加し、連携を図るようにしています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡ノートや送迎時、家庭訪問などで情報を共有している。また、必要に応じて面談を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		今後実施できるように検討しています。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に保護者様に詳細な説明を行っています。その都度質問を承っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		ご家族様と時間をかけて話し合い、アセスメントの確認、分析を行い最善の計画案を作成した物を確認していただき同意を得ています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		保護者に同意を得た上で支援計画にサインを頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		連絡ノートや送迎時等で相談を受けた場合には、状況に応じて事業所内に持ち帰り、改めて面談日を設けることで適切な助言ができるようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	事業所内での保護者会等は開催しておりません。	プライバシー等の懸念もあるので、開催するかは今後保護者にも確認しながら検討していきます。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		日々の利用に関するご相談については迅速に対応できるように配慮しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		HPにて施設の概要を発信しています。	今後、通信等を導入、活用しながら活動内容や行事予定などを発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報は鍵付き書庫に保管しております。今後も取り扱いには十分留意していきます。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		適宜分かりやすい言葉を用いるように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		個人情報の観念もあるので、保護者とも相談しながら慎重に進めています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルに関しては事業所内に掲示しており、職員や保護者に周知しています。訓練は年間行事に記載し定期的を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し、法人内での研修に定期的に参加しています。月に一度様々な想定をし、避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		契約時や面談時に持病や服薬を確認しています。対応については保護者と相談し確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時や面談時にアレルギーの有無を把握し、必要に応じて対応していきます。（現在は該当者なし）	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		避難訓練は月1回ほど実施しており避難場所等を配布物にてお伝えし周知しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		事業所玄関に避難場所や災害時の対応について掲示しております。変更などあればその都度配布物でお知らせし周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事例があった場合にはヒヤリハットを作成し、事故の防止、予防に努めていきます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年間研修計画として内部研修を行い、職員間で周知しています。県や市主催の虐待予防研修に参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	3	現在該当者なし。	今後面談時や契約時に必要と判断した場合は、子どもや保護者に説明し了承を得た上で計画書に記載し、サインをいただきます。	